



▲上今泉の大型防災備蓄倉庫（写真上）には、飲料水や非常食・簡易組立トイレ（写真中）などのほか、1台で100人分の炊き出しが可能なレスキューキッチン（写真下）などの機材を備えています。



▲大型防災備蓄倉庫内部の様子

# 「さらなる成長へ、元気をつなぐ確実な予算」

平成24年度の当初予算編成は、依然として続く円高やデフレ、欧州の政府債務危機など、非常に厳しい経済情勢下での編成作業となりました。このような経済情勢や税収の減少が続く中、東日本大震災を教訓とした市民の安全安心の確保に向けた防災機能強化や、急速に進む少子高齢社会への対応、さらには、将来の税収増につながるまちづくりの推進など、「今の海老名市には何が必要なのか」「将来の海老名市のために、今何をすべきか」という観点から事業の「選択と集中」に取り組みました。

「持続可能な都市経営」の理念のもと、激動する時代の中、改革から成長への道筋を確立し、「海老名の新時代」の幕開けとなるよう、「さらなる成長へ、元気をつなぐ確実な予算」を編成し、現在この予算案を3月市議会に提案しています。

## ～海老名の新時代～

### 災害に強いまがびくわ

①市内3カ所目の大型防災備蓄倉庫の建設など(8300万円)【充実】

災害時の生活必需品や防災資機材などを備蓄し、市民の安全安心を確保するとともに、迅速かつ効果的な防災体制を構築するため、市内3カ所目となる大型防災備蓄倉庫を南部地区（杉久保）に建設します。（平成25年度供用開始予定）

また、平成24年度中に、中部地区（大谷）で市内2カ所目の大型防災備蓄倉庫の供用を開始します。

②東柏ヶ谷近隣公園の防災機能強化に向けた整備(7800万円)【新規】

安全で安心して暮らせるまちづくりを推進するために、東柏ヶ谷近隣公園の防災機能強化に向けた整備を実施します。かまどベンチや防災備蓄倉庫を有する施設を建設し、災害時の地域防災拠点となる公園にします。

③(仮称)食の創造館の取得および供用開始(3億4300万円)【新規】

学校給食以外に災害時の炊き出し機能などを併せ持ち、「食」をキーワードとしたサービスを市民に提供する施設として、(仮称)食の創造館の供用を開始します。この施設は、県の地域振興施設等整備事業(※1)によって建設するものです。

※1：市町村が行政施策の一環として、自らが経営する施設の整備などを要請し、有償譲渡を条件として、県企業庁が施設を整備するもの。



▲完成予想図（イメージ）。幼稚園児や高齢者を対象にした給食といった多角的な展開や、市の名産品の開発なども行う予定。

#### ◆一般会計歳入の状況

(単位：億円)

	予算額		比較		構成比	
	H24年度	H23年度	増減額	伸び率	H24年度	H23年度
市税	203.0	204.9	△1.8	△0.9%	55.1%	54.5%
うち個人市民税	82.3	79.8	2.5	3.1%	22.3%	21.2%
うち法人市民税	11.7	13.0	△1.2	△9.5%	3.2%	3.4%
うち固定資産税	88.1	91.2	△3.1	△3.3%	23.9%	24.2%
地方譲与税および各種交付金	21.1	19.4	1.6	8.5%	5.7%	5.2%
国庫支出金	53.5	69.5	△16.0	△23.0%	14.5%	18.5%
うち普通建設事業費充当分	9.2	12.0	△2.8	△23.4%	2.5%	3.2%
県支出金	19.7	19.2	0.6	3.0%	5.4%	5.1%
繰入金	12.2	10.1	2.0	20.2%	3.3%	2.7%
市債	32.1	25.4	6.7	26.5%	8.7%	6.7%
その他	27.1	27.7	△0.6	△2.1%	7.3%	7.4%
歳入総額	368.7	376.1	△7.4	△2.0%	100.0%	100.0%

#### ◆一般会計歳出(目的別)の状況

(単位：億円)

	予算額		比較		構成比	
	H24年度	H23年度	増減額	伸び率	H24年度	H23年度
議会費	3.2	3.8	△0.6	△14.9%	0.9%	1.0%
総務費	53.1	53.8	△0.7	△1.3%	14.4%	14.3%
民生費	134.6	139.9	△5.3	△3.8%	36.5%	37.2%
衛生費	28.5	28.0	0.5	1.9%	7.7%	7.4%
労働費	2.3	2.3	0.0	0.1%	0.6%	0.6%
農林水産業費	3.1	3.4	△0.3	△7.4%	0.9%	0.9%
商工費	3.5	3.7	△0.2	△5.5%	0.9%	1.0%
土木費	52.9	48.4	4.6	9.5%	14.4%	12.9%
消防費	19.3	17.4	1.9	10.8%	5.2%	4.6%
教育費	39.6	49.0	△9.4	△19.2%	10.7%	13.0%
災害復旧費	0.0	0.1	△0.1	△89.2%	0.0%	0.0%
公債費	26.3	24.2	2.2	8.9%	7.1%	6.4%
諸支出金	1.6	1.6	0.0	0.8%	0.4%	0.4%
予備費	0.5	0.5	0.0	0.0%	0.1%	0.1%
歳出総額	368.7	376.1	△7.4	△2.0%	100.0%	100.0%

#### ◆予算規模(一般会計)

歳出の予算額は、平成23年度当初予算の約376.1億円に対し、約7.4億円の減となる約368.7億円となりました。

しかし、「子ども手当」から「子どものための手当」に国の制度が変更されたことによる減額分

が約7億円であることから、実際には23年度と同規模の予算額となっています。

なお、歳入の予算額は景気の低迷を受け、市税が前年度に比べ約1.8億円減となる約203億円を見込んでいます。

財源不足分は、適債事業に市債を活用します。